

北九州市オレンジプラン(案)について

※計画期間

平成27年度から平成29年度まで(3年間)

北九州市オレンジプラン(案) 主な目標

- ★認知症サポーター養成講座の受講者数…7万人達成
- ★認知症初期集中支援チーム…全市をカバーできる体制の構築
- ★認知症疾患医療センター…全市で4箇所設置
- ★徘徊捜索模擬訓練の開催…7区において開催

基本方針

1. 市民一人ひとりが認知症のことを正しく理解する

2. 認知症の状態に応じた認知症の人とその家族を支援するための仕組みづくり(連携強化)

3. 認知症の人とその家族を地域で支える人材を育成する

4. 高齢者の権利・尊厳を尊重する

施策の方向性

1) 認知症予防の充実・強化

2) 認知症高齢者の地域での生活を支える医療・介護体制の構築

3) 地域での日常生活・家族の支援の強化

4) 身近な相談と地域支援体制の強化

5) 若年性認知症施策の強化

6) 地域・民間・行政が一体となった取り組みの推進

7) 権利擁護・虐待防止対策の推進

基本的な施策(主な取り組み)

- 生活習慣病予防・介護予防と一体的な取り組みの推進
 - ⇒ 認知症支援・介護予防を総合的に支援する拠点設置【新規】
 - ⇒ 介護予防に関する普及・啓発事業
- 認知症の人への早期対応の推進
 - ⇒ 認知症初期集中支援チームの設置【新規】
- 認知症の人及び関係者を支援する医療体制の充実
 - ⇒ 在宅医療・介護連携拠点の整備【新規】
 - ⇒ 認知症疾患医療センター運営【拡充】
- 地域関係者等への認知症に関する正しい理解の促進と普及啓発
 - ⇒ 認知症サポーター養成研修(事業名:認知症サポーターキャラバン事業)
- 認知症の人やその家族への支援
 - ⇒ 認知症カフェ運営支援【新規】
 - ⇒ 認知症ケアパス作成普及【新規】
- 徘徊高齢者対策の強化
 - ⇒ 徘徊模擬訓練開催校区の拡大【拡充】
- 地域での日常生活の支援
 - ⇒ 地域支援コーディネーター【新規】(事業名:地域相談支援事業)
- 気軽に相談できる体制作り
 - ⇒ 地域包括支援センターの機能強化【拡充】
- 在宅医療と介護の連携強化
 - ⇒ 在宅医療・介護連携拠点の整備【新規】(再掲)
- 若年性認知症の正しい理解の促進
 - ⇒ 企業を中心とした市民への啓発【新規】
- 若年性認知症の支援体制の強化
 - ⇒ 若年性認知症介護家族交流会の開催
- 認知症の人及び家族を地域全体で支える体制の構築
 - ⇒ 北九州市オレンジ会議の開催
 - ⇒ いのちをつなぐネットワーク事業
- 権利擁護に関する啓発活動の強化と関連施策の充実
 - ⇒ 権利擁護関連施策の推進と市民の利用促進

「市民一人ひとりが、認知症を正しく理解し、誰もが安心して暮らせる」みんなで支えあうまち